

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 A組～G組
 教科担当者：(A組：石岡) (B組：奥間) (C組：小田島) (D組：石岡) (E組：小田島) (F組：奥間)
 使用教科書：(『精選論理国語』三省堂) (G組：小田島)

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「ぬくみ」 鷺田清一 【知識及び技能】 ・文章の構成をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の情報とを結び付けて考える。	・漢字・語彙 ・読解の方法			○	【知識及び技能】 ・文章の構成をとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の情報とを結び付けて考えることができる。	○	○	○	9
	定期考査					○	○		1	
	「世代間倫理としての環境陳理学」 加藤尚武 【知識及び技能】 ・情報を吟味する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・根拠を示して自分の考えを明確に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとする。	・主張と根拠 ・情報の信頼性と妥当性 ・テーマに沿って自分の考えを書く ・作品を読みあって、相互に評価する。			○	【知識及び技能】 ・情報を吟味し、判断することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・根拠を示して自分の考えを明確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとしている。	○	○	○	14
定期考査						○	○		1	
2 学 期	「ミロのビーナス」 清岡卓行 「空白の意味」 原研哉 【知識及び技能】 ・文章の構成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を活用し、筆者の考えを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深める。	・漢字・語彙 ・筆者の主張と具体例			○	【知識及び技能】 ・文章の構成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を活用し、筆者の考えを理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1	
	「『であること』と『すること』」 丸山真男 【知識及び技能】 ・語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深める。	・漢字・語彙 ・論旨をとらえる			○	【知識及び技能】 ・語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深めようとしている。	○	○	○	14
定期考査						○	○		1	
3 学 期	「古今和歌集仮名序」 紀貫之 「歌よみに与ふる書」 正岡子規 【知識及び技能】 ・情報を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の資料をもとに考察し、批判的に読まれることを想定して書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとする。			○	【知識及び技能】 ・情報を適切に整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の資料をもとに考察し、批判的に読まれることを想定して書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとしている。	○	○	○	14	
	定期考査					○	○		1	
						○	○		合計 70	

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 3 単位
 対象学年組: 第2学年 A組~ G組
 教科担当者: (A組: 小田島) (B組: 石岡) (C組: 山本) (D組: 奥間) (E組: 柴田) (F組: 小田島)
 使用教科書: () (G組: 石岡)

教科 国語 の目標:
 【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話『古今著聞集』『十訓抄』 【知識及び技能】 ・和歌の修辞を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、登場人物の心情を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌に関心をもつ	・説話を読み味わう ・和歌について知る			○	【知識及び技能】 ・和歌の修辞を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、登場人物の心情を考 えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌に関心をもち、和歌の役割を考 えようとしている。	○	○	○	8
	漢詩 【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情景や心情を考えながら、作品を 味わう 【学びに向かう力、人間性等】 ・想像力を働かせて鑑賞する	・漢詩のきまり ・漢詩の鑑賞			○	【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情景や心情を考えながら、作品を 味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・想像力を働かせて鑑賞しようとして いる。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1	
	随筆『枕草子』 【知識及び技能】 ・敬語の知識を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に現れたものの見方や考え 方を知り、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人物像を思い描きながら作品を 読む。 定期考査	・日記的章段を読み味わう ・敬語の用法 ・助動詞の活用			○	【知識及び技能】 ・敬語の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に現れたものの見方や考え 方を知り、自分の考えを深めること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人物像を思い描きながら作品を 読もうとしている。	○	○	○	20
2 学 期	思想『孟子』『荀子』『莊子』 【知識及び技能】 ・基本句法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、儒家と道家の考 え方の特徴をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・思想家の考え方の違いに注目 する。 定期考査	・儒家と道家の思想を理解する ・基本句法			○	【知識及び技能】 ・基本句法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、儒家と道家の考 え方の特徴をとらえること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・思想家の考え方の違いに注目 し、作品を読もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査					○	○		1	
	軍記『平家物語』 【知識及び技能】 ・勅撰和歌集について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・敬語の知識を使って作品を 読む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を考えて 味わう 定期考査	・軍記を読み味わう。 ・勅撰和歌集について知る。 ・助動詞の活用			○	【知識及び技能】 ・勅撰和歌集について理解して いる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・敬語の知識を使って作品を 読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を考えて、 作品を味わおうとしている。	○	○	○	20
3 学 期	日記『蜻蛉日記』 【知識及び技能】 ・平安時代の女性と結婚について 知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情を読み取り、 自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代と平安時代の生活を比較 し、相違点や共通点を見つける。 定期考査	・女流日記を読み味わう。 ・平安時代の女性と結婚について 知る。 ・助動詞の活用。			○	【知識及び技能】 ・平安時代の女性と結婚について 理解して いる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情を読み取り、 自分の考えを深めること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代と平安時代の生活を比較 し、相違点や共通点を見つ けようとしている。	○	○	○	22
	定期考査					○	○		1	
									合計	105

高等学校 令和5年度（学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 選択

教科担当者：畑島 宗之

使用教科書：（『詳説世界史』山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、

【学びに向かう力、人間性等】歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>単元：文明の成立と古代文明の特質</p> <p>【知識及び技能】文明誕生の条件、各地域の古代文明の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】おもな古代文明の立地について考察するとともに、文明による違いを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】古代文明に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 文明の誕生</p> <p>2 古代オリエント文明とその周辺</p> <p>3 南アジアの古代文明</p> <p>4 中国の古代文明</p> <p>5 南北アメリカ文明</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、古代文明の特質を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元：中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>【知識及び技能】中央ユーラシアの遊牧民の軍事力と東アジアの王朝の変容が連動していることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】遊牧民の動きが東アジアを含めた地域に大きな影響を及ぼしたことを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】遊牧という生活様式により生じた軍事力とその影響に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界</p> <p>2 秦・漢帝国</p> <p>3 中国の動乱と変容</p> <p>4 東アジア文化圏の形成</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、遊牧民の軍事力と東アジアの動きを多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】中央ユーラシアと東アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
	<p>単元：南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>【知識及び技能】南アジアの古代王朝の変遷と東南アジアにおける国家形成の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】仏教などの宗教の成立と各王朝との関係を多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自然環境が豊かな世界における歴史的な動きに対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 仏教の成立と南アジアの統一国家</p> <p>2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着</p> <p>3 東南アジア世界の形成と展開</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】南アジアで生まれたさまざまな宗教・文化が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、インド・東南アジアの特徴を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】南アジア世界と東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元：西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>【知識及び技能】イランの各王朝とギリシア・ローマ世界の特徴を理解</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 イラン諸国家の興亡とイラン文明</p> <p>2 ギリシア人の都市国家</p>	<p>【知識・技能】イラン諸国家・アテネの民主政・ギリシア文化・ローマの地中海支配・キリスト教の成立について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、西</p>				

2 学期	<p>する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イランの各王朝が東西文明間で担った役割とギリシア・ローマが近代ヨーロッパに及ぼした影響について多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】乾燥した地域に発生した様々な動きに対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>3 ローマと地中海支配</p> <p>4 キリスト教の成立と発展</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>アジアとギリシア・ローマ世界の特徴を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】地中海周辺地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元:イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の成立を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラーム勢力が強大となったこと、東西ヨーロッパの基礎が築かれたことを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】地中海を挟んだ二つの世界に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立</p> <p>2 ヨーロッパ世界の形成</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】イスラーム教の成立と拡大、東西ヨーロッパ世界の成立について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、イスラーム世界の特徴を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】イスラーム世界とヨーロッパ世界の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
3 学期	<p>単元:イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識及び技能】イスラーム教が中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカに受容された経緯と西アジアにおける政治・経済・社会の変化を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】上記地域へのイスラーム教の拡大の背景・影響を多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イスラーム世界の拡大に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 イスラーム教の諸地域への伝播</p> <p>2 西アジアの動向</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、イスラーム世界の拡大を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】イスラーム教の伝播と西アジアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元:ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】ヨーロッパにおけるカトリック教会の普遍的な権威と各国の動きを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】各国の盛衰やその宗教との関係を多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】近代ヨーロッパにつながる動きに対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 西ヨーロッパの封建社会とその展開</p> <p>2 東ヨーロッパ世界の展開</p> <p>3 西ヨーロッパ世界の変容</p> <p>4 西ヨーロッパの中世文化</p> <p>・教材 詳説世界史ノート（ノート）</p> <p>タペストリー（図説）</p> <p>世界史用語集（用語集）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況、ビザンツ帝国の盛衰、封建社会の衰退、キリスト教の影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、中世ヨーロッパの特徴を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		59

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理・歴史 科目 日本史探究

教科：地理・歴史 科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：(ABC組①：高嶋 薫) (ABC組②：高嶋 薫) (DE組①：高嶋 薫) (DE②組：高嶋 薫) (FG組①：高嶋 薫) (FG組②：高嶋 薫)

使用教科書：(日本史探究 『詳説日本史』 (山川出版社))

教科 地理・歴史 の目標：

【知識及び技能】日本の歴史の展開を理解するとともに、調査や諸資料を活用して、様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関わる事象の意味や意義、伝統・文化の特色などを、時期・年代による推移、相互の関連に着目して多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決について構想する。考察・構想を効果的に発表したり討論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察と深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史への愛情、他国の歴史・文化への理解と尊重の重要性を探究し、国際化の中で変動する現代社会で活躍する力を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	p

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 【知識及び技能】・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を巡る間いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・指導事項 1 南蛮文化との接触 2 織豊政権 3 桃山文化 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝国書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、文化、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、産業の発達、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・幕藩体制の細則と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係、社会・経済の仕組みの変化、などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・指導事項 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝国書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化の特色に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】幕藩体制の確立、貿易の統制と対外関係、産業の発達、近世の社会と文化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学期	C 単元 【知識及び技能】・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化の影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・幕末の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・指導事項 1 幕政改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝国書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を巡る間いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・幕末の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・指導事項 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝国書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学期	E 単元 【知識及び技能】・明治維新、自由民権運動を基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。「文明開化の風潮」を理解している。大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・欧米の思想・文化の影響、産業の発達の影響、地域社会における労働や生活の変化などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】・明治維新の変化に関わ	・指導事項 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝国書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】明治維新やそれともなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】明治維新やそれともなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新やそれともなう文明開化の風潮、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～ G組
 教科担当者：（A～E組：小松）（F～G組：藤田）
 使用教科書：（第一学習社 『高等学校 公共』 『最新公共資料集』）
 教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し倫理的主体などとして活動するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、各国が相互に主権を尊重し、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、何を考え行動すればよいかを理解するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、何を考え行動すればよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって学習していくことの意義を考察する。	●社会に生きる私たち●社会に生きる私たち●個人の尊厳と自主・自律●キャリア形成と自己実現●伝統や文化とのかかわり●多様性と共通性	【知識及び技能】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、何を考え行動すればよいかを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって学習していくことの意義を考察できる。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 個人や社会全体の幸福を重視する考え方について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らも他者とともに納得できる解決方法を見出すことに考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての生き方あり方について現代の諸課題を主体的に考察する。	●人間と社会のあり方についての見方・考え方●実社会の事例から考える～環境保護●実社会の事例から考える～生命倫理●公共的な空間を形成するための考え方●よりよく生きる行為者として活動するために	【知識及び技能】 個人や社会全体の幸福を重視する考え方について学ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らも他者とともに納得できる解決方法を見出すことに考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての生き方あり方について現代の諸課題を主体的に考察することができる。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 社会を構成してきた先人の取り組み、歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と平等、個人の尊重について基本的原理について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的原理が現代社会でどのような形で生かされているかを考察する。	●人間の尊厳と平等●個人の尊厳と自主・自律（「公共的な空間をつくる私たち」から）●個人の尊重●民主政治の基本原則●法の支配●自由・権利と責任・義務●世界のおもな政治体制●日本国憲法に生きる基本的原理	【知識及び技能】 先人の取り組み、歴史を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と平等、個人の尊重について基本的原理について学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的原理が現代社会でどのような形で生かされているかを考察することができる。	○	○	○	9
2 学 期	【知識及び技能】 法やルールの意義、役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に向けて、ルール作成、利用等を主体的に学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察する。	●私たちの生活と法●法と基本的権利●自由・平等と法・規範●法をよりよく変えていくために●さまざまな契約と法●消費者の権利と責任●裁判所と人権保障	【知識及び技能】 法やルールの意義、役割を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に向けて、ルール作成、利用等を主体的に学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察することができる。	○	○	○	7

期	<p>【知識及び技能】主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】政治課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいか考察する。</p>	<p>●選挙の意義と課題●政治参加と世論形成●国会と立法●内閣と行政の民主化●地方自治と住民の福祉●国際連合の役割と課題●平和主義と安全保障●核兵器の廃絶と国際平和</p>	<p>【知識及び技能】主権者である国民と国会・内閣の関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】政治課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいか、考察することができる。</p>	○	○	○	14
	<p>【知識及び技能】経済の基本的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人々の経済活動、日本経済のあゆみと、現代の経済の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】変化する現代社会において私たちが豊かに暮らすための指標について考察する。</p>	<p>●私たちが経済●労働者の権利と労働問題●企業の活動●市場経済と経済運営●市場経済のしくみ●経済発展と環境保全●経済発展と国民福祉●金融の意義や役割●政府の経済的役割と租税の意義●社会保障と国民福祉●国際分業と国際貿易体制●国際収支と為替相場●国際社会における貧困や格差</p>	<p>【知識及び技能】経済の基本的な仕組みを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】人々の経済活動、日本経済のあゆみと、現代の経済の課題について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】変化する現代社会において私たちが豊かに暮らすための指標について考察することができる。</p>	○	○	○	20
3 学 期	<p>【知識及び技能】持続可能な社会を築き上げるために必要なことは何か、考察する。 【思考力、判断力、表現力等】地球環境問題が国際的な問題になっていることやその解決に向けての取り組みを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察する。</p>	<p>●地球環境問題</p>	<p>【知識及び技能】持続可能な社会を築き上げるために必要なことは何か、考察することができる。 【思考力、判断力、表現力等】地球環境問題が国際的な問題になっていることやその解決に向けての取り組みを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決していく意義を考察することができる。</p>	○	○	○	2
合計							63

石神井 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者： (A組：中村) (B組：正田) (C組：兼近) (D組：兼近) (E組：中村) (F組：木原) (G組：正田)

使用教科書： (高等学校 数学Ⅱ (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 式と証明</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3次の乗法公式の拡張である二項定理の意味を理解している。 整式の除法、約数と倍数を整数の除法、約数と倍数と対比させて理解している。 分数式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整式の除法を考えることにより、整式の四則演算と数の四則演算を関連づけて考察することができる。また、数の構造と整式の構造との類似性を見つけることができる。 二項定理を考えることにより、I 数学AJで学ぶ組合せの考え方を再認識し、考え方を拡張することができる。 分母や分子に分数式を含む式について、分数式の拡張的な扱いや考察ができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「数学Ⅰ」での整式の加法、減法、乗法に引き続き、除法を学習し、整式の四則演算について、関心を示し、種々の課題の解決に活用しようとする。 二項定理に関心をもち、式の展開に積極的に活用しようとする。また、パスカルの三角形に関心を示し、それを活用しようとする。 分数式の計算について関心をもち、目的に応じて式の変形をしようとする。 	<p>指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 3次の乗法公式と因数分解 二項定理 整式の除法、約数と倍数 分数式の計算 恒等式 等式の証明 不等式の証明 <p>教材等 高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式を利用して3次式の展開ができる。 $(a+b)^n$の展開式とパスカルの三角形の関係および、パスカルの三角形の性質を理解している。 二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。 分数式を約分することができる。 分数式の四則計算ができる。 繁分数式を簡単にすることができる。 恒等式と方程式の違いを理解している。 等式が恒等式となるように係数を決定することができる。 等式の証明をすることができる。 比例式を$=k$とおいて処理できる。 不等式$A>B$を証明するとき、$A-B>0$を示してもよいことを理解し、それを利用して、不等式を証明することができる。 実数の性質を用いて不等式を証明することができる。 平方の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。 相加平均と相乗平均の大小関係を利用して不等式を証明することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の形に着目して公式を適用できる形に変形し、多項式を因数分解できる。 $(a+b+c)^n$について、式を1つのまとまりと見ること、二項定理を活用して展開式の項の係数を求めることができる。 絶対値の性質を利用して、絶対値記号を含む不等式を証明できる。また、その証明を読み取り、絶対値の性質をどのように用いて証明しているか説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 因数分解する方法を複数考え、それらを比較したり、結果が同じになることを確認したりしようとする。 $(a+b+c)^n$の展開式の項の係数について、二項定理を応用したり、二項定理を導出した方法を適用したりして、一般的に調べようとする。また、その結果が同じになることを確認しようとする。 多項式の割り算および割り算で成り立つ等式を整数の割り算についてのものと比較して理解し、余りの次数にも注意して積極的に考察し、活用しようとする。 繁分数式を簡単にするのに、複数の方法を試したりそれらを比較したりして、それぞれの特徴を調べようとする。 様々な恒等式を、積極的に作ろうとする。 恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとする。 与えられた等式から文字を消去する方法を複数考え、それらを比較することで様々な方法 	○	○	○	15

かである。

- ・式を用いて、与えられた条件を満たす方程式を求め、それがどのような図形になるかを考察することができる。
- ・領域における最大、最小を考察するなど、領域を線形計画法に活用する過程を考察することができる。
- ・領域を利用して命題の証明を考察することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・三角形や四角形などの基本的な図形の性質や関係を座標を利用して調べようとする。
- ・点と直線の距離を求める公式に関心を持ち、それを問題の解決に用いようとする。
- ・与えられた条件を満たす点全体の集合が作る図形に関心を持ち、軌跡を調べようとする。
- ・直線、円周、放物線で分けられる領域について、不等式を利用して調べようとする。

たす点の軌跡を求めることかである。

- ・媒介変数処理が必要な軌跡を求めることができる。
- ・直線を境界線とする領域を図示することができる。
- ・円を境界線とする領域を図示することができる。
- ・連立不等式の表す領域を図示することができる。
- ・領域を利用する1次式の最大値・最小値の求め方を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・座標平面上の2点間の距離を活用して、点の座標を定めたり、図形の性質を証明したりすることができる。
- ・直線に関して対称な点の座標について、図形の条件を式で表現し、考察することができる。
- ・2点を直径の両端とする円について、中心と半径に着目して、方程式を求めることができる。
- ・円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数から考察することができる。
- ・円と直線の共有点の個数を、中心と直線の距離から考察することができる。
- ・2つの円の共有点について、2つの円の方程式を適切に変形して考察することができる。
- ・条件の真理集合を考えることにより、命題の真偽を真理集合の包含関係として考察し、証明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・数直線上の外分点について、内分点と統一して捉えようとする。
- ・座標平面を用いて図形の性質を一般的に証明する際、一般性を崩さないように点の座標を設定することや、座標軸のとり方によらず証明できることなどに興味を持ち、様々な座標や座標軸の設定法を試そうとする。
- ・三角形の3本の中線が1点で交わるのが座標を用いて証明できることに興味をもつ。
- ・ x, y の方程式が座標平面上で図形を表すということの意味を理解しようとし、点の集合が図形を表すことを正しく認識する。
- ・直線の方程式の公式を、直線が1つに定まる条件としてとらえようとする。
- ・2直線の関係を、傾きに着目して考察しようとする。
- ・3点を通る円が1つに定まるということに興味を持ち、三角形の外接円や、2点を通る円の集まりなどを考察することで理解しようとする。
- ・円と直線の共有点の個数と、中心と直線の距離の関係について、図を複数かくなどして自ら見出そうとする。
- ・円の接線を求める様々な方法を理解し、それぞれの関係や、どの方法を用いるかななどを積極的に考察しようとする。
- ・2つの円の方程式から導かれる1次方程式について、それが表す直線がどのようなものか考察しようとする。
- ・線形計画法について、最大値・最小値を求める1次式の係数を変えたり、最大・最小となる点から係数を求めたりすることで、より詳しく考察し、理解しようとする。
- ・直線や円を境界線とする領域をもとに、一般関数のグラフを境界線とする領域について考察しようとする。

○

○

○

25

2 学 期	<p>C 単元 三角関数、指数・対数関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般角における三角関数についての基礎的な知識を身に付けている。 三角関数の周期性について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 角度の拡張に伴う三角比から三角関数への発展について考察することができる。図形の計量のための比の値としての見方から関数としての見方へ移行することができる。 単位円や三角関数のグラフを用いて、三角関数を含む方程式、不等式の解について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 180°以上の角や負の角、また角度を表す別の表現としての弧度法に関心を示し、活用しようとする。 三角関数の基本性質や相互関係を活用しようとする。 	<p>指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 一般角 弧度法 一般角の三角関数 三角関数の相互関係 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の加法定理 2倍角・半角の公式 三角関数の合成 <p>教材等</p> <p>高等学校数学II サクシード数学II+B</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般角について理解し、一般角を表す動径を図示したり、動径の表す角を$\alpha + 360^\circ \times n$と表したりできる。 弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。また、動径が表す角について弧度法で考えることができる。 扇形の弧の長さや面積を、公式を用いて求めることができる。 三角関数の相互関係を理解し、それらを利用して様々な値を求めたり、式変形をしたりすることができる。 周期性や漸近線など、三角関数のグラフの特徴を理解している。 三角関数を含む不等式を解くことができる。 加法定理を利用して、正弦、余弦の値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正接の加法定理を利用して、2直線のなす鋭角を求めることができる。 2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 複素ある三角関数の性質について、適切なものを判断して利用し、三角関数の値を求めることができる。 $y = \sin(k\theta - \alpha)$の形の関数の式を適切に変形して、グラフや周期を考察することができる。 $\sin(\theta + \alpha) = k$の形の方程式について、$\theta + \alpha = t$とおいたときの$t$の範囲にも注意して解くことができる。 三角関数の合成を用いて式を変形することで、既習の形に帰着し、関数の最大値・最小値を求めたり、方程式を解いたりすることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般角を、動径とともに考察しようとする。 三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 三角比の相互関係について、既習である円の方程式と関連付けて、多面的に考察しようとする。 三角関数のグラフについて、コンピュータを用いるなどして積極的に考察しようとする。 周期関数や奇関数、偶関数に興味をもち、その性質を調べようとする。 三角関数を含む不等式について、単位円だけでなく三角関数のグラフも利用するなどして、多面的に考察しようとする。 三角関数を含む関数で$\sin \theta = t$とおいたとき、θの動きとtの動きを関連付けて、関数の値の変化を考察し、理解しようとする。 加法定理を利用して、様々な公式を導出・証明しようとする。 	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	<p>C 単元 指数・対数関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数を正の整数から有理数まで拡張する意義を理解している。 累乗根の意味を理解している。 指数関数のグラフの特徴を理解している。 自然現象の中に見られる生成や発展、減衰の様子は指数関数で表されることについての知識を身に付けている。 対数の意味とその必要性を理解している。 	<p>指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 0や負の整数の指数 指数の拡張 指数関数 対数 対数関数 常用対数 <p>教材等</p> <p>高等学校数学II サクシード数学II+B</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 累乗根の定義や性質を理解し、累乗根の値を求めたり計算したりすることができる。 指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 指数関数のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。 対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 				

<p>くいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな数を簡潔に表現できることを理解している。 対数関数のグラフの特徴を理解している。 常用対数の意味を理解している。 音の強さや地震の規模など人間の感じ方の尺度に対数が活用されていることについての知識を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数(実数)まで拡張し、そのグラフについて考察することができる。 指数関数のグラフを考察する際に、直観的に指数を実数にまで拡張して考えることができる。 指数の逆としての対数をとらえ、その性質を考察することができる。 指数法則から積、商、累乗の対数を導くことを考察することができる。 底の変換公式を導く過程を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数の拡張について関心を示し、具体的な事象に活用することができる。 対数の性質について関心を示し、具体的な事象に活用することができる。 常用対数が概数を考察する際に有効であることに関心をもち、積極的に取り組もうとする。 		<p>とかくさる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対数の性質に基づいて、種々の対数の値の計算ができる。 底の変換公式を適用することができる。 対数関数のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。 正の数を$a \times 10^n$の形に表して、常用対数表を用いて対数の値を求めることができる。 桁数や小数第何位に初めて0でない数字が現れるかを、常用対数を用いて求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数関数の増減によって、数の大小関係を考察することができる。 $ax > 0$に注意して、おき換えによって既知の問題に帰着することで、指数方程式・指数不等式を解くことができる。 対数関数の増減によって、数の大小関係を考察することができる。 対数関数を含む少し複雑な方程式・不等式を解くことができる。 おき換えによって既知の問題に帰着することで、対数関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 0乗、負の整数乗、分数乗は、指数法則が成り立つように定義されていることを理解し、その定義について考察しようとする。 指数法則を用いた計算について、いくつかの方法を試し、よりよい計算方法を検討しようとする。 負の数のn乗根に興味をもち、その値が存在するかどうかも含めて具体的に考察しようとする。 指数と対数の関係に興味をもち、性質や計算において、その関係を見出そうとする。 対数関数を含む方程式・不等式について、真数が正であるという条件について、その解との関係をもとに考察しようとする。 	○	○	○	19
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>3学期</p> <p>D 単元 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 極限値の意味を式とグラフから直観的に理解している。 接線の意味とその方程式の求め方を理解している。 極値の意味とその求め方を理解している。 関数の最大値・最小値の意味とその求め方について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 導関数の定義にしたがって、関数を微分することができる。 関数の和、差および定数倍の導関数を求めることができる。 接線の方程式を求めることができる。 関数の増減を調べることで極大値、極小値を求めることができる。 3次以下(※)の整数関数のグラフをかくことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均変化率、微分係数、導関数の考え方に関心をもち、調べようとする。 関数の値の変化を調べようとする。 関数のグラフを調べる際に、微分係数、導関数を活用しようとする。 	<p>指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 平均変化率と微分係数 導関数 接線の方程式 関数の増減 方程式・不等式への応用 不定積分 定積分 面積と定積分 <p>教材等</p> <p>高等学校数学Ⅱ サクシード数学Ⅱ+B</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均変化率の定義を理解し、それを求めることができる。 関数の極限値の意味を直観的に理解し、それを求めることができる。 微分係数の図形的な意味を理解し、接線の傾きを求めることができる。 公式を用いて関数の導関数を求めることができる。 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 関数の極値が与えられたとき、関数を決定することができる。 導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 定積分の定義を理解し、定積分を計算することができる。 グラフとx軸の間の面積を、定積分で表して求めることができる。 2曲線の間の面積を、定積分で表して求めることができる。 絶対値のついた関数の定積分の計算方法を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲線外の点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えて、接線の方程式を求めることができる。 方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 不等式$f(x) \geq 0$を関数$y=f(x)$の最小値が0以上と読み替えて、不等式を証明することができる。 積分法が微分法の逆演算であることを利用して、与えられた条件を満たす関数を不定積 	○	○	○	27

		分を用いて求めることができる。 ・定積分は定数であることを理解し、その理由を説明できる。また、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ・上端が x である定積分を、 x の関数と捉えて問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○接線の方程式について、微分係数だけでなく、2次方程式が重解をもつという条件も合わせ、多面的に考察しようとする。 ○1次関数についても、2次関数と同様な方法				
定期考査			○	○		1
						合計
						123

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎(通年)

教科：理科 科目：物理基礎(通年) 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：(A組：神崎) (B組：西) (C組：竹内) (D組：西) (E組：神崎) (F組：西) (G組：神崎)

使用教科書：(第一学習社 高等学校 新物理基礎)

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】物理現象をを日常生活と関連付けて考えることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】物理に関わる事象について積極的に学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎(通年) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・物体の運動と様々なエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・物体の運動と様々なエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。	・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。 ・学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物理量と単位、有効数字 速さと速度、加速度 等加速度直線運動 自由落下 鉛直投射 水平投射 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
○力と運動の法則 ○仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 力と質量 いろいろな力 力の合成と分解 力のつりあい 運動の3法則 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
○熱(熱とエネルギー) 【知識及び技能】 熱とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 温度と熱 熱平衡 熱量の保存 物質の三態 熱と仕事 エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・エネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・物体のエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
○波動(波の性質、音波) 【知識及び技能】 波動現象について、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 波の基本的な性質などについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 波の表し方 横波と縦波 波の重ね合わせ 定常波、波の反射 音の速さと3要素 音の性質 弦の固有振動 気柱の固有振動 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・波動の現象についてを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・波の基本的な性質について、観察、実験を通して探求し、波の表し方や音波における規則性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
○電気(電荷と電流、磁場) 【知識及び技能】 電気の性質とそのエネルギーについて、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。	・指導事項 電流と電気抵抗 抵抗の接続 電力量と電力 磁場 モーターと発電機 交流の発生と利用	【知識・技能】 ・電気の性質とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・電気の性質とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。	○	○	○	11

3 学期	則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電気の性質やそのエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		合計 1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎(前期)

教科：理科 科目：物理基礎(前期) 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A、C、E、G組

教科担当者：(A組：西) (C組：西) (E組：西) (G組：西)

使用教科書：(第一学習社 高等学校 新物理基礎)

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】物理現象をを日常生活と関連付けて考えることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】物理に関わる事象について積極的に学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎(前期) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・物体の運動と様々なエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・物体の運動と様々なエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。	・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。 ・学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物理量と単位、有効数字 速さと速度、加速度 等加速度直線運動 自由落下 鉛直投射 水平投射 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
○力と運動の法則 ○仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 力と質量 いろいろな力 力の合成と分解 力のつりあい 運動の3法則 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物体の運動とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
○熱(熱とエネルギー) 【知識及び技能】 熱とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 温度と熱 熱平衡 熱量の保存 物質の三態 熱と仕事 エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・エネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・物体のエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
○波動(波の性質、音波) 【知識及び技能】 波動現象について、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 波の基本的な性質などについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 波の表し方 横波と縦波 波の重ね合わせ 定常波、波の反射 音の速さと3要素 音の性質 弦の固有振動 気柱の固有振動 ・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・波動の現象についてを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・波の基本的な性質について、観察、実験を通して探求し、波の表し方や音波における規則性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができるか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
○電気(電荷と電流、磁場) 【知識及び技能】 電気の性質とそのエネルギーについて、日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。	・指導事項 電流と電気抵抗 抵抗の接続 電力量と電力 磁場 モーターと発電機 交流の発生と利用	【知識・技能】 ・電気の性質とエネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・電気の性質とエネルギーについて、観察、実験を通して探求し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見出して表現できる。	○	○	○	11

2 学期	則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電気の性質やそのエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・教材 教科書 自作プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		合計 1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎(後期)

教科：理科 科目：物理基礎(後期) 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A、C、E、G

教科担当者：(A組：西) (C組：西) (E組：西) (G組：西)

使用教科書：(数研出版 物理)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し、規則性や関係性を見出して表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎(後期) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動について観察、実験などを通して、様々な運動について理解する。また、それらの観察、実験などになどに関する技能を身に付ける。	様々な物体の運動について、観察、実験などを通して、運動の規則性や法則性を見出し、表現できる。また、物体の運動のようすについて、特徴を説明することができる。	物理的な事物・現象に対して主体的に関わり、理解しようとしているか。また、気づきから課題を設定し解決しようとする態度を身に付けているか。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○剛体のつり合い 【知識及び技能】 モーメントについて理解し、剛体にはたらく力の合力を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 剛体にはたらく力の和とモーメントの和について、どのような関係があるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 授業内容について積極的に理解しようとしている。	・指導事項 力のモーメント 剛体のつりあい条件 重心 ・教材 教科書、問題集、自作プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 モーメントについて理解し、剛体にはたらく力の合力を求めることができる。 【思考・判断・表現】 剛体にはたらく力の和とモーメントの和について、どのような関係があるか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や調べ学習について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
○運動量と力積 【知識及び技能】 運動量と力積について、求め方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだことをもとに、運動量と力積の関係について説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業内容について積極的に理解しようとしている。	・指導事項 運動の変化と力積 運動量保存の法則 分裂する物体 反発係数 衝突と力学的エネルギーの損失 ・教材 教科書、問題集、自作プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 運動量と力積について、求め方を理解している。 【思考・判断・表現】 学んだことをもとに、運動量と力積の関係について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や調べ学習について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
○円運動と単振動 【知識及び技能】 等速円運動と単振動の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 等速円運動の運動方程式から、物体の運動について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業内容について積極的に理解しようとしている。	・指導事項 等速円運動 向心力 慣性力と遠心力 単振動の特徴と単振動を表す式 ばね振り子、単振り子 ・教材 教科書、問題集、自作プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 等速円運動と単振動の特徴について理解できているか。 【思考・判断・表現】 等速円運動の運動方程式から、物体の運動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や調べ学習について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
○万有引力 【知識及び技能】 ケプラーの法則、万有引力の法則を理解する。また、力学的エネルギーを立式する。 【思考力、判断力、表現力等】 万有引力の式を用いて、物体の運動について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業内容について積極的に理解しようとしている。	・指導事項 ケプラーの法則 万有引力の法則 万有引力による位置エネルギー 力学的エネルギー保存 ・教材 教科書、問題集、自作プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ケプラーの法則、万有引力の法則を理解している。また、力学的エネルギーを立式することができる。 【思考・判断・表現】 万有引力の式を用いて、物体の運動について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や調べ学習について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
○気体分子の運動と圧力 【知識及び技能】 ボイル・シャルルの法則を理解する。気体が熱運動をして壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導く。 【思考力、判断力、表現力等】 ボイル・シャルルの法則を用いて、日常に即した課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業内容について積極的に理解しようとしている。	・指導事項 気体の圧力と大気圧 ボイル、シャルルの法則 理想気体の状態方程式 気体の分子運動論 ・教材 教科書、問題集、自作プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ボイル・シャルルの法則を理解しているか。気体が熱運動をして壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導くことができる。 【思考・判断・表現】 ボイル・シャルルの法則を用いて、日常に即した課題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や調べ学習について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
○気体の内部エネルギーと状態変化 【知識及び技能】 内部エネルギーと期待の状態変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の状態変化と気体がされた仕事について説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業内容について積極的に理解しようとしている。	・指導事項 気体の内部エネルギー 熱力学第一法則 気体の状態変化 モル比熱 熱機関と熱効率 ・教材 教科書、問題集、自作プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 内部エネルギーについて理解できている。気体の状態変化の特徴を理解できている。 【思考・判断・表現】 気体の状態変化と気体がされた仕事について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や調べ学習について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 選択

教科担当者：泉水 裕二

使用教科書：（東京書籍 化学 2東書化学701）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】化学が果たす役割について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】化学が果たす役割について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】化学が果たす役割に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学が果たす役割についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	化学が果たす役割について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	化学が果たす役割について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	A 単元 電池と電気分解 【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて、電池、電気分解のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、電池、電気分解について見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】電池、電気分解に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 酸化還元反応の復習 金属の酸化還元反応 電池 電気分解 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して、電池、電気分解の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】電池、電気分解について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】電池、電気分解について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 単元 物質の状態 【知識及び技能】物質の状態とその変化について、状態変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、状態変化について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】状態変化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物質の三態 気体・液体間の状態変化 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】物質の状態とその変化についての実験などを通して、状態変化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】状態変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】状態変化について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
C 単元 気体の性質 【知識及び技能】物質の状態とその変化について、気体の性質を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、気体の性質について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】気体の性質に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 気体 気体の状態方程式 ・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】物質の状態とその変化についての実験などを通して、気体の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】気体の性質について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】気体の性質について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
C 単元 溶液の性質 【知識及び技能】溶液と平衡について、溶解平衡および溶液とその性質を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・指導事項 溶液 希薄溶液の性質 コロイド 物性、化学、（問題集）	【知識・技能】溶液と平衡についての実験などを通して、溶解平衡および溶液とその性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な					

2 学 期	<p>察, 実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶液と平衡について, 観察, 実験などを通して探究し, 溶解平衡および溶液とその性質について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】溶解平衡および溶液とその性質に関する事象・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) 一人1台端末の活用 等 	<p>な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】溶解平衡・溶液とその性質について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】溶解平衡および溶液とその性質について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>D 単元 固体の構造</p> <p>【知識及び技能】物質の状態とその変化について, 固体の構造を理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】物質の状態とその変化について, 観察, 実験などを通して探究し, 固体の構造について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】固体の構造に関する事象・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 結晶 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 分子結晶と共有結合の結晶 教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】物質の状態とその変化についての実験などを通して, 固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】物質の状態とその変化についての実験などを通して, 固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】固体の構造について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>E 単元 化学反応と熱・光</p> <p>【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて, 化学反応と熱・光のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて, 観察, 実験などを通して探究し, 化学反応と熱・光について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学反応と熱・光に関する事象・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 反応とエンタルピー変化 ヘスの法則 光とエネルギー 教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して, 化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】化学反応と熱・光について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>F 単元 化学反応と熱・光</p> <p>【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて, 化学反応と熱・光のことを理解し, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて, 観察, 実験などを通して探究し, 化学反応と熱・光について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学反応と熱・光に関する事象・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して, 化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】化学反応と熱・光について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
<p>G 単元 化学反応の速さ</p> <p>【知識及び技能】化学反応と化学平衡について, 反応速度のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】反応速度について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】反応速度について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 反応の速さ 反応速度を変える条件 反応のしくみ 教材 セミナー (問題集) サイエンスビュー (図説) 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して, 反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】反応速度について, 問題を見いだし見通しをもって実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】反応速度について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5	

3 学 期	<p>II 単元 化学平衡</p> <p>【知識及び技能】化学反応と化学平衡について、化学平衡とその移動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡とその移動について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学平衡とその移動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 可逆反応と化学平衡 平衡の移動</p> <p>・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して、化学平衡とその移動の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】化学平衡とその移動について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】化学平衡とその移動について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>I 単元 水溶液中の化学平衡</p> <p>【知識及び技能】化学反応と化学平衡について、電離平衡のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、電離平衡について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】電離平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 セミナー（問題集） サイエンスビュー（図説）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して、電離平衡の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】電離平衡について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】電離平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		合計

高等学校 令和5年度（学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 選択

教科担当者：只木 薫

使用教科書：（数研出版 生物 104数研生物704）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】生物の共通性と多様性、構造と機能について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生物の共通性と多様性、構造と機能について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】生物の共通性と多様性、構造と機能に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の共通性と多様性、構造と機能についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	生物の共通性と多様性、構造と機能について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	生物の共通性と多様性、構造と機能について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 生物の進化 【知識及び技能】生命の起源および生物の変遷と進化のしくみ、分子進化や種概念と分類から生物の多様性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】進化・系統について、動画や図説などを通して探究し、系統や生物多様性について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】進化・系統に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞とDNAの復習 生物の進化の変遷 生物の分類と系統 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生命の起源および生物の変遷と進化のしくみ、分子進化や種概念と分類から生物の多様性を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料などを利用して理解を深めている。 【思考・判断・表現】進化・系統についてその共通性と多様性を見だし見通しをもって資料の活用などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】進化・系統について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 単元 生命現象と物質 【知識及び技能】細胞と分子についてを理解するとともに、呼吸や光合成などの代謝についての理解とともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】細胞と分子、光合成や呼吸などの代謝について、観察、実験などを通して探究し、生命活動としての代謝について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】細胞と分子、代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞と分子 代謝 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】細胞と分子についてを理解するとともに、呼吸や光合成などの代謝についての理解とともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】細胞と分子、光合成や呼吸などの代謝について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】細胞と分子、代謝に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：（A組～G組 男子 西田・脇山） （A組～G組 女子 脇山・大比良）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
B 器械運動 【知識及び技能】 技ができる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技で演技することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	マット運動 技の大きさ・美しさを求める。技の組み合わせを考える。なめらかな演技（つなぎやさばき）を実施する。 演技の出来栄の高め方や評価基準について考える。 事故防止について考える。お互い教えあう。良い演技を認め讃えあう。	【知識・技能】 マット運動では、回転系や巧技系の技で構成し演技するための滑らかに安定した基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 技の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。また器械運動に関連した体力の高め方について学習した具体例を挙げている。運動観察の方法について理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 自己の課題に応じて学習する技の合理的な動き方の改善すべきポイントを見付けている。自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。自己の技能・体力の程度に応じて目指す技や技の組合せ方を見付けている。 仲間と学習する場面で、仲間の動きと自己の動きの違いなどを指摘している。 健康や安全を確保するために体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 器械運動を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。よい演技を讃えようとしている。 自己の責任を果たそうとしている。互いに助け合い教え合おうとしている。健康・安全を確保している。	○	○	○	8
C 陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。	試走 タイム測定 スタートから1台目までのアプローチ 振り上げ脚 インターバル	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すことができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。				

1 学期	<p>【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>		<p>見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
	<p>D 球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
	<p>E 水泳</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>水慣れ クロール 平泳ぎ スタート タイム測定</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6

2 学 期	A 体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型 ラグビー	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
	C 水泳 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	クロール 平泳ぎ スタート タイム測定	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	D ダンス 【知識及び技能】感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする事、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。	現代的なリズムのダンス リズムに乗って全身で自由に踊る まとまりを付けて踊る 発表や交流の様子	【知識・技能】ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10

3 学 期	<p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>スポーツの歴史的発展と多様な変化</p> <p>現代のスポーツの意義や価値</p> <p>スポーツの経済的効果と高潔さ</p> <p>スポーツが環境や社会にもたらす影響</p>	<p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>B 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>20分間走</p> <p>25分間走</p> <p>30分間走</p> <p>走るフォーム</p> <p>呼吸法</p> <p>ペースの作り方</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
	<p>B 球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>ネット型</p> <p>バレーボール</p> <p>ベースボール型</p> <p>ソフトボール</p> <p>ゴール型</p> <p>ラグビー</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

教科担当者：（A組：石塚）（B組：石塚）（C組：石塚）（D組：西田）（E組：脇山）（F組：西田）
（G組：西田）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身につけるようにする。	健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	B 安全な社会生活 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 定期考査	・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成 ・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 上記6項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。	【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	C 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。	・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠、出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み ・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり 上記10項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。	【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代における健康課題とその予防及び対策について理解している。・特に現代の感染症とその予防、生活習慣病について十分理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	D 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 定期考査	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 上記4項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。	【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	D 健康を支える環境づくり	・食品の安全性と健康	【知識・技能】	○			1

<p>【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品の安全性を確保する取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品の制度とその活用 ・ 様々な保健活動や対策 ・ 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり <p>上記7項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。</p>	<p>学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5	
							合計
							25
定期考査			○			1	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ G組

教科担当者：（A組：戸田）（B組：戸田）（C組：戸田）（F組：戸田）（G組：戸田）（組：）

使用教科書：（MOUSA2）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創 賞						
1 学 期	題材：Jポップを歌おう 【知識及び技能】 自分自身の声の特徴を捉え、Jポップに適した発声法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱表現の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。	・ミックスボイス、ミドルボイスについて ・「SUN」「歩いて帰ろう」 「One more time, One more chance」	○			【知識及び技能】 自分自身の声の特徴を捉え、Jポップに適した発声法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱表現の学習に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。	○	○	○	8
	題材：様々なものを表現する音楽 【知識及び技能】 表現上の効果を音楽的な関わりによって説明できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組み、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度を養う。	ドビュッシー「夜想曲」より 「雲」 ラヴェル「水の戯れ」			○	【知識及び技能】 表現上の効果を音楽的な関わりによって説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組み、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度を養おうとしている。	○	○	○	4
	題材：ギターのさまざまな奏法 【知識及び技能】 フォークギターのアルペジオ奏法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 フォークギターの音色をイメージしながら弾き歌いにふさわしい音楽表現をできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽文化に親しむ。	糸			○	【知識及び技能】 フォークギターのアルペジオ奏法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 フォークギターの音色をイメージしながら弾き歌いにふさわしい音楽表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	題材：ミュージカルナンバーを歌おう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりと表現上の効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。	The Phantom of the Opera All I ask You	○		○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりと表現上の効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさを深く味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。	○	○	○	6
	題材：日本歌曲を歌おう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりによって生み出される表現上の効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想に応じた歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。	からたちの花	○			【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想に応じた歌唱表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。	○	○	○	6
	題材：EDMをつくらう 【知識及び技能】					【知識及び技能】 音階や音型などの特徴について、理解してい				

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

教科担当者：(BC組：田尻) (FG組：田尻)

使用教科書：(日本文教出版)

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】線や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、鉛筆などの特性を生かし表現方法を創意工夫して表す。

【思考力、判断力、表現力等】対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。

【学びに向かう力、人間性等】「錯視」の効果のよさや面白さ、表現の工夫などについて考え、構想を練ったり鑑賞したりする。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す。 ・対象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動にとりくもうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価標準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
<p>A 単元 表現・鑑賞/絵画</p> <p>【知識及び技能】 線や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、鉛筆などの特性を生かし表現方法を創意工夫して表す。 作品を描いて得たものを、2分間で100文字以上に感想をまとめてプレゼンを行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>○年間を通じて授業初めに、人物クロッキーを行い、ポーズを構成して身体の軸と重心を把握し、人体のプロポーション、ムーブマンを捉え、線と明暗で表現する。 10分クロッキー 教材 クロッキーブック 6B鉛筆 一人一台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 「知」線や明暗による表現の効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて鉛筆などの特性や効果を生かし表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果考えたことなどから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された線や明暗による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	30
<p>B 単元 表現・鑑賞/陶芸</p> <p>【知識及び技能】 粘土の特性を理解して重心やバランスを考えて大きさや機能性、使いやすさも考慮して意図に応じて思いつきの形体ではなく表現方法を創意工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさや美しさを考え創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘土の特性を生かして作成する。ユニークなマグカップの表現方法の工夫などを紹介し合うことによって、お互いの創造力や独創性を感じ取る。また、見方や感じ方を深める表現や鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組む。</p>	<p>○信楽の並白を用いて、手びねりによるデザイン性にとんだワクワクするようなマグカップを制作する。蓋つきでも良い。 クロッキーブック 6B 信楽の並白 陶芸道具 一人一台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 陶芸の粘土の特性に応じて重心やバランスを考えながら創意工夫し、釉薬の働きを理解して焼成後を見通して施釉をする。 【思考・判断・表現】 ワクワクするマグカップを考え表現の構想を練って取り組み、機能性を考慮しながら個性豊かで創造的に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 素焼き、本焼きを経た粘度の良さや美しさを感じ取る。造形を通して独創的でデザイン性に富んだユニークな表現を工夫して行い、立体を表す表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	30

2 学 期	<p>C 単元 表現・鑑賞／絵画 銅版画で表す。</p> <p>【知識及び技能】 線や明暗、色彩などの特性や効果を捉え、版画の技法による表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 想像や空想したイメージなどを基に、形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、版画の技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 空想や夢などから、心の中の世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。版画の技法による表現の特性や効果を表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>○銅版画 この世にない不思議な世界を自由に表現する。10cm×15cmのアルミ板を用いて表現する。</p> <p>教材 アルミ板 版画用具 クロッキーブック 6B鉛筆 画用紙 一人一台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識・技能】 「知」版画に見られる線や明暗、色彩などの特性や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」版画の技法の特性や効果を生かした表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「発」感じ取ったことや考えたことなどから、版画の技法による表現の特性や効果を生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「態表」版画の技法による表現の効果や工夫を、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」版画の技法による表現の効果や工夫を、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。空想や夢などを基に心の中の世界を表す表現活動の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「鑑鑑」版画作品に表された線や明暗、色彩などの効果を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	28
3 学 期	<p>D 単元 表現・鑑賞／デザイン テーマ「花」アロマキャンドル</p> <p>【知識及び技能】 パラフィンのもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現素材としてのパラフィンのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える。花のイメージを生かし、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表現素材としてのパラフィンのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>○アロマキャンドル テーマ「花」をテーマに自由に表現する。花の造形的な美しさだけでなく、重心やバランスを考え、創造的な表現の構想を練る。色のグラデーションや色彩構成を考える。</p> <p>教材 パラフィン クレヨン アロマキャンドル キャンドル制作用具一式 クロッキーブック 一人一台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 「知」パラフィンのもつ素材の特質が感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 花のイメージを生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態鑑」表現素材としてのパラフィンのよさや美しさなどを鑑賞する創造的な諸活動に、取り組もうとしている。</p>	○	○	12
							合計
							70

2 学 期	<p>臨書 臨書作品の制作</p> <p>【知識及び技能】 各々が選択した古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選文 ・ 半紙六字臨書 ・ 半切16字臨書 	○	○	<p>【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 篆書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。</p>	12
	<p>隷書の学習 『乙瑛碑』『曹全碑』の鑑賞と臨書</p> <p>【知識及び技能】 隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 隷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隷書の変遷と成立 ・ 臨書『乙瑛碑』 ・ 臨書『曹全碑』 ・ 半紙六字臨書 	○	○	<p>【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 篆書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。</p>	10
3 学 期	<p>仮名の学習 「高野切」鑑賞と臨書</p> <p>【知識及び技能】 古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。古筆の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名の変遷と成立 ・ 高野切第一種、第二種、第三種の比較と鑑賞 ・ 臨書『高野切第一種』 ・ 『高野切第一種』を素材とした小字による表現 	○	○	<p>【知識・技能】 書風と用筆・運筆について理解している。 日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 仮名の古筆や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古筆の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。</p>	6
	<p>漢字仮名交じりの書の学習</p> <p>【知識及び技能】 目的や用途に則した表現、漢字と仮名の調和した表現の技能を身につける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成の則した表現形式、意図に基づいた表現について構成し、工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ題材を用いて作品創作 ・ 自分で選文し作品創作 	○	○	<p>【知識・技能】 線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成に則した表現形式、意図に基づいた表現について構成し、工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	8
						合計
						50

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者： (A組～G組： 轟)

使用教科書： (家庭基礎 気づく力 築く未来【実教出版】)

教科 家庭

の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】 価値・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	発達課題 【知識及び技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う	初回オリエンテーション・発達段階と発達課題	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2
	食生活 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	食生活の問題点 食生活の変化 5大栄養素のはたらきと多く含まれる食品 出汁 食品衛生 調理実習① 調理実習②	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設け、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14
	家族関係 【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割果たし家庭を築くことの重要性について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や	家族に関する法律 家庭生活を営む	【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について	○	○	○	3
保育 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるため基礎的な技能を身に付けてい	子どもの発達と子どもの生活 子どものための社会福祉	【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるため基礎的な技能を身に付けてい					

